

かほく ワークシート

飛び立つハクチョウ。雪の岩手山を舞うように横切った＝8日午前6時半ごろ、盛岡市



ハクチョウの飛来地として知られる盛岡市高松の高松の池で、シベリアへ戻る北帰行が始まっている。

日の出から間もない8日午前6時半ごろ、朝日に輝く岩手山を背景に100羽以上の群れが一気に飛び立った。1カ月ほどかけて約3000キロを北上する。

北へ
帰る

50年以上、岩手県内でハクチョウの撮影を続ける同市の菊池啓造さん(82)は「たくましく自然を生きながらも優雅に空を舞う姿に、毎年元気をもらっている」と目を細めた。

高松の池では4月初旬ごろまでハクチョウを見ることができるといふ。

(2015年3月9日河北新報朝刊)

①冬の間、日本で過ごしたハクチョウが、春になってシベリアに戻ることを何と言いますか。

②北へ帰るハクチョウは、どれほどの旅をすることになりますか。記事から、およその期間と飛行距離を読み取りましょう。

期間 ()

距離 (キロ)

③ハクチョウに励ましの言葉をかけてあげましょう。

年 組 名前

(小学校中・高学年／朝の会、総合的な学習)